

## 特集展示・町屋展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。  
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

### 特集展示「新収蔵品展」



#### 特集展示「新収蔵品展」

会 期：4月18日(火)～6月25日(日)

時 間：8:30～19:00(最終入館18:30)

会 場：特集展示室（2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内）

観覧料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

代々伝わってきた「モノ」を適切な環境で保全しつつも、それらを展覧会などの形を通して来館者の皆さまにご覧いただく—博物館の重要な使命の一つです。そういった活動をより活性化させるためにも、当館では資料の研究・収集事業を常に進めています。長崎の歴史や文化を語るうえで欠かせない資料を新たに購入し、時にはご寄贈いただくことにより、一層充実した展示空間を作っていきたいと考えています。

当館の開館以降に収蔵された資料群は必要に応じて活用されていますが、本展ではこのような「新収蔵品」を一挙公開いたします。展覧会の開催がきっかけとなり製作されることになった《伊東マンショ肖像(複製)》から輸出用の漆器として用意された《ドッガーバンク海戦図蒔絵プラーク》まで、新たに博物館の「仲間」となった作品の数々を通して長崎がもつ幅広い魅力をお楽しみください。

### 町屋展示「端午の節句」



#### 町屋展示「端午の節句」

会 期：4月11日(火)～6月18日(日)

時 間：8:30～19:00(最終入館18:30)

会 場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン 町屋

観 覧 料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料

端午の節句に男子の健やかな成長を願い、各種の行事を行うしきたりがあります。

長崎では、5月1日、前年に男の子が生まれた家では、男子の初節句を祝って立てる新しい幟(のぼり)を立てました。幟は木綿か布で作り、家紋や鶴亀・松竹梅・神様である鍾馗(しょうき)などを染め出したもの、猿や小鈴などの飾りをさげ、一対の幟台(のぼりだい)に取りつけます。そのほかにも纏(まとい)や槍(やり)・刀などの模型も合わせて飾りました。

5月5日には長崎奉行所では役人に赤飯や煮しめをふるまいました。また長崎の商家では早朝から諏訪神社などへ参拝し、その後知人の家々を回り挨拶を行いました。武者飾りとともに、端午の節句の時に食される、唐あくちまきなど長崎伝統の歳時料理も展示しています。

